

憩いの場でつながる

外出の機会などが減る中、感染対策を徹底した上で、さまざまな方が交流する機会をつくる活動が行われています。



地域食堂の取り組み

活動を始めたきっかけ

普段はスープカレー店を営んでいますが、大勢で食卓を囲む機会が少ないお子さんや、近所との交流が減っている高齢の方が笑顔になれる居場所や役割が大切だと思い、地域食堂の活動を始めました。お店に来てくれているお客さんからつながりが広がり、頂いた食材を全て使い切る献立のアイデア出しや当日の準備など、幅広い年代の方に手伝ってもらい、低価格での食事の提供をバイキング形式で行って来ました。

コロナ禍での影響

残念ながら集まって食事をする活動は難しくなりました。しかし、近所の飲食店の方と話し合って「おいしいものは人を元気にする！」を合言葉に、地域の方の笑顔につながることを願って、今は月に1回程度、お弁当を販売する形で実施しています。

ボレボレキッチン
菅原さんに聞きました！



子どもから大人まで地域の皆さんの力が集結

今回のメニューは
ハヤシライス！



地域とつながりがある方や子どもたちが、密にならないよう交代で調理や盛り付けを担当。高齢の方や障がいのある方も、下ごしらえやおかず作りに参加しました。



子供へのお礼のボードは
子どもたちの手作り

定休日は子どもたちが勉強する場に

子どもの居場所づくりとして、主に小中学生への学習支援を実施。ボランティアの学生が子どもたちに教える場にもなっています。



菅原さんとの縁と、教員志望ということもあって立ち上げから参加し、子どもの自主性を大切にしながら教えてきました。これからは子どもたちには足を運んでほしいですね。

9月まで塾長を務めた丸瀬さん

子どもの居場所に関する情報をホームページで紹介

市内の子ども食堂の一覧のほか、支援したい方向けの情報を公開しています。 札幌 子どもの居場所 検索

お弁当の販売や学習支援の実施は
不定期のためお問い合わせください
地域食堂ボレボレキッチン
所在地白石区栄通17 電話851-0086



心をつなぐ 活動の輪

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、家で過ごす時間が増えたことで、孤立化や心身への影響が心配されています。今回の特集では、感染対策を行いながら人と人とのつながりを守る活動を見ていきます。

【詳細】2・3ページは子どものくらし支援担当 ☎211-2947、
4・5ページは市民活動促進担当 ☎211-2964

コロナ禍の長期化で私たちの暮らしにさまざまな影響が出ています

近所との交流が
できないし、
元気が出ない



友達と遊べないし、
勉強の遅れを
取り戻したい



仕事が減って
生活が苦しい



次のページへ

こうした方を支援する地域の活動を紹介します！

支援でつながる

市民や企業、NPO法人などが協力し、コロナ禍で思うように仕事ができず生活が苦しい方を支える取り組みが行われています。



フードバンクの取り組み

ハンズハーベスト北海道の
小山代表に聞きました！



具体的な活動について

食品を無駄にせず、困っている方に届けるため、フードバンクの活動を始めました。市民の皆さんだけでなく、企業や農家の方から余った食品を提供していただき、生活が特に苦しい母子・父子家庭を中心にお渡ししています。

コロナ禍で変わったこと

生活が苦しくなった方が増えている一方で、公共施設の休館などで引き渡しの場所を探すのに苦労しました。ただ、コロナ禍の影響から「役に立ちたい」「ぜひ困っている方に渡してほしい」という声も多く頂くようになり、積極的に寄付してくださる方が増えたことはうれしく感じますね。

3日間で約400世帯に食品を配布



タマねぎはなんと札幌産！

北区ではお寺の駐車場を借りて実施。寄付を受けたお米やレトルト牛丼、栄養バランスを考えた食品などのほか、農家から提供を受けた野菜も配りました。

生鮮食品などがまとめて提供されることも

日持ちしない食品がスーパーなどから提供された場合は、子どもが多い世帯や福祉施設へ連絡し、その日のうちに配布。普段買わないような珍しい物があると、子どもたちに喜ばれるそうです。



寄付したい方はご連絡ください
NPO法人ハンズハーベスト北海道
所在地中央区南24西15 電話090-8371-3636

人や地域を元気にする活動を応援

これまで見てきたほかにも、市内ではさまざまな方が協力合って活動しています。皆さんも、今特に必要とされている取り組みを応援することから始めてみませんか。

さばーとほっと基金でまちづくり活動を応援

特定の団体のほか、「まちづくりの推進」や「子どもの健全育成」などの分野やテーマを指定して寄付できます。寄付の金額に応じて、住民税や所得税の負担が軽減されます。

寄付の方法現金、納付書、クレジット決済。詳しくはお問い合わせを
詳細市民活動促進担当☎211-2964 さばーとほっと 検索

オンラインでつながる

感染状況により行事などを休止せざるを得ない場合もある中、インターネットを活用した活動が浸透してきています。



オンラインでの学習支援の取り組み

活動の目的と取り組み

子どもたちが平等に学びの機会を得られる環境をつくりたいと思い、小学生から高校生までの学習を支援しているほか、将来の視野が広がるように体験学習や職場訪問の機会をつくっています。また、子ども同士のつながりが生まれるよう、自由に過ごせるスペースも設けていますよ。

オンライン化のきっかけ

休校期間に取ったアンケートには、勉強の遅れや生活リズムの乱れへの不安が多く寄せられ、コロナ禍でも継続的な支援が必要だと感じました。そこでオンラインを活用し、自宅学習で使える教材の紹介や、朝型の生活になるよう午前中に子どもとボランティアがZoomで話す取り組みなどを行いました。

Kacotamの
高橋理事長に聞きました！



パソコンを使って子どもの相談にも対応



メンバーの興味分野や伝えたいことを紹介するYouTubeチャンネル



オンラインでの学習支援は、コロナ禍で訪問できていない児童養護施設などの子どもとの関係を維持するためにも大切。一方で、通信環境の確保のほか、互いの反応が分かりづらいことなどから、不安や抵抗を感じる方も多いことが課題だそうです。

対面での学習支援も継続

一人一人のペースに合わせて、大学生や社会人のボランティアと一緒に考えながら学習をサポート。勉強後にはボランティア同士で子どもの様子や今後の進め方などを共有していました。



寄付などによるご協力を受け付けています
認定NPO法人Kacotam
所在地中央区北5西17 電話070-4799-8867

介護予防センターで実施しているオンライン介護予防教室

市内の介護予防センターの一部ではインターネットを使い、自宅にいながら仲間と一緒にストレッチや頭の体操ができる取り組みも行っています。パソコンやスマートフォンの操作が苦手な方には、教室へのインターネット接続のサポートもしていますのでご相談ください。

詳細各介護予防センター、介護保険課☎211-2547

札幌市 介護予防センター 検索

